

## TOPICS 新しくなった分子研コロキウム

分子研コロキウムは既に800回を越える歴史のあるセミナーですが、元々のコロキウムの趣旨は、所長を筆頭に全ての教授、准教授（当時は助教授）が参加し、各人の専門分野を越えて学問的な刺激を受ける場を提供することであったとお聞きしています。若い研究者を巻き込んでのブレインストーミングの場でもあり、また、前号レターズ欄で理研の田原先生がいみじくも述べられているように「分子研で話して大丈夫ならたぶん間違いではない」という役目も講師の方（さらには分子科学コミュニティ）に与えていたのだと思います。しかし、山手地区への展開や法人化以降の組織改編や国民への説明責任などが優先され、分子研コロキウムが隅に追いやれてしまうような状況に陥ってしまいました。そこで、所内有志で議論した結果を大峯新所長にぶつけたところ、ご理解して頂き、世話人として本年度（H22）から分子研コロキウムの改革に着手しました。分子科学の最先端で自ら先陣を切って研究をされている方々を講師としてお招きし、山手地区の人たちや客員の先生方も参加できるように、定例で毎月第3金曜日に開催される教授会議終了後にコロキウムを行うことにしました。多忙を極めている研究者を第3金曜日の教授会議後にピンポイントでお招きするわけですから、日程交渉がかなり大変なことになります。ところがこのような無茶な依頼を突然メールでお願いしても、我々のコロキウム改革の趣旨を御理解頂き、可能な限りの日程調節を試みてくださる先生が多いことが分かり、正直なところ予想外の嬉しい反応です。あらためて講師の先生には感謝申し上げます。コロキウムにはもう一つ大きな変革があります。大峯所長の発案で、コロキウム終了後に所長差し入れのワインを飲みながら講師の先生と研究談話会を行うことにしております。リラックスした雰囲気で行うことは素晴らしい試みで、参加者の皆さんには「これは良いね」と非常に好評です。コロキウム委員が用意するビールと比べものにならないワインなので、所長に毎回数本ものワインを差し入れて頂いているのが非常に心苦しい限りですが、個人的にはこの企画は何としてもコロキウム改革の一部として続けたいと勝手に思っています。以上、試行錯誤でコロキウム改革を進めております（教授会議も早く終わるようになりました）。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

（信定 克幸 記）



## TOPICS 分子科学フォーラム

1996年より開催している分子科学フォーラムですが、今年度は昨年11月5日に「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーである宇宙航空研究開発機構の川口淳一郎教授を、今年の1月14日にノーベル物理学賞受賞者の益川敏英教授をお招きしました。

川口教授の講演会では、300名以上の参加者で会場は超満員となりました。参加者の中には、はやぶさの模型を作った自動車エンジニアや、はやぶさを紹介している本を握りしめた小学生等熱狂的ファンも多数参加していました。

益川教授は岡崎市民会館大ホールで開催しましたが（通常は岡崎コンファレンスセンター）、約900名の市民、学生が集まってくださり、こちらも大盛況となりました。講演前は、岡崎3機関の若手研究者と懇談会を行いました。質問や意見が絶えることなく、くつろいだ雰囲気の中、楽しい懇談会となりました。

来年度の第一弾は、巻頭言に執筆いただいた佐藤勝彦機構長を予定しています。

（広報室 記）

